

人の闇

「目立たない素直な人でしたよ」

恐ろしい犯罪の後に語られる知人談

いつも恐ろしい顔をしている人が

いつも乱暴な振舞いの人が

忌まわしい犯罪を起こす訳ではない

人はそれぞれ闇を抱えて生きている

廻りの人間にその闇までは見えていない

いや、本人にさえはつきりとは見えていないのだ

闇は膨張したり萎縮したり

温度も急激に変化しながら心を無色に支配する

体内に潜む得体の知れぬ生き物の影

沈殿した闇は血管にまで入り込んで

いつもは何気ない顔をして折り合っている

この顔のない生き物は傾斜したプライドに病んでいて

主人の統御力がなくなると

突如止め処なく傷だらけの反乱を起こす

世間話で人を裁く前に

静かに自分の闇を見詰めてみよう

自分にも必ずある暗い闇を

(2006.6.7)